

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
インテリアデザイン	中井 孝幸	講義	2	建築士	1,2	1,3	1,2,3,4
授業概要 授業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な生活環境を創り上げるために必要な基礎知識と計画手法を学ぶ。 ・空間を構成する床、壁、天井の立体的な関係を理解する。 ・家具や照明、素材などを「人と空間」との関係で捉えるようにする。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・3次元を2次元(図面・透視図・スケッチ)で表現できるようにする。 ・課題を通じて、インテリアデザインの計画・プレゼンテーションを学ぶ。 						
回	学習内容						
1	ガイダンス・住まいとインテリア(日本、西洋)						
2	家具にみるデザイン様式の変遷						
3	演習①:平面図、展開図の描法						
4	人間工学について						
5	演習②:インテリアパースの描き方						
6	インテリアの安全性について						
7	形・色・テクスチャーについて						
8	演習③:ベニヤ板1枚でデザインする椅子の模型制作						
9	ヒューマンスケールと空間の心理						
10	照明とサインのデザイン						
11	演習④:A2判ケント紙でデザインする照明器具の模型制作						
12	地震と災害						
13	演習⑤:空間のインテリア設計						
14	材料と仕上げについて						
15	提出された作品の講評会、まとめ						
予習内容 復習内容	予習：講義の前に参考図書、配布資料等で予習を行う。 復習：講義の後に板書やスライドの内容をノートに整理する復習を行う。						
教科書	講義中に適宜資料を配布する。 参考図書:インテリアデザイン教科書研究会編:インテリアデザイン教科書、第2版、彰国社						
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・出席を毎回取る。遅刻厳禁。6回以上欠席した場合には評価の対象外とする。 ・出席と演習課題の総合点(小レポート15%、演習課題85%)により評価する。 ・演習課題が未提出な者は、単位取得できない。 						
実務経験	組織設計事務所での勤務経験を活かし、授業では実践的なデザインや計画について話します。						
その他 特記事項	演習課題に用いる製図道具やケント紙、模型制作の材料や用具などは各自でそろえる。						